

シリーズ

「私の森語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。

「竹ってホントに邪魔物ですか？」

NPO法人
いなだに竹Links 代表
曾根原 宗夫
そねはら むねお

■自己紹介

飯田市天竜川の舟下り船頭として二十三年間、川の上で過ごしてきました。舟下りの舞台である鷺流峡という渓谷にゴミの不法投棄が目立ち、その原因は放置竹林が暗く生い茂る環境だと気づいたことから竹との関わりが始まりました。

「天竜川鷺流峡復活プロジェクト」という竹林整備団体を立ち上げ、地域、企業、行政が一体となって整備を行いました。

そのうちに「うちの地域の竹も

どうかして欲しい」という要望や講演会などの依頼が増し、このニーズに対応すべく船頭を辞め、「NPO法人いなだに竹Links」を立ち上げて創業二年が経ちました。

■活動内容

我々が得意としているのは地域との協働です。繁茂した竹は景観悪化、地滑り、道路寸断や獣害など様々な問題を引き起こします。竹でお困りの地域に協議会などを設立していただき、共に整備を進めていきます。

学生とのつながりも重要です。大学生の団体IVUSA（国際ボランティア学生協会）が企画する「伊那谷環境保全活動」と共に活動しています。整備作業の後には、学生と一緒に竹網BBQで盛り上げられます。

また、地元の小学校で「竹育」活動を行っています。竹伐り体験、



大学生と共に行う伊那谷の竹林整備

竹いかだ体験、筍を使ったメンマ商品販売などを行い、子どもたちが楽しく竹について学んでいます。

前述のメンマ商品は、弊社のもう一つの特徴である竹資源活用において主力商品です。二つほどに伸びすぎた筍を収穫し、味付けメンマに加工しています。長野県内と通販で販売していますが、ありがたいことに根強いファンに支えられて毎年売り切れとなります。

そして最近、ポラス竹炭（土壌改良剤）の販売も始めました。

■メッセージ

川と共に過ごした前職の際に、山と水の循環について多くの気づきがありました。

竹を適切に整備して山や里山を健全な状態に維持することは、私たちの生活に欠かせない水を守る水源涵養保全につながります。

そして、持続可能な竹と対峙していくには焦らず諦めず、活動の中に楽しみを生み出すことが必須だと感じます。



伸びすぎた筍とメンマ商品

○連絡先

〒399-2603

長野県飯田市下久堅知久平349-7

電話／080-2078-1400

<https://chikulinks.org/>